

桜を守り育てるために

新川千本桜ボランティア発足式

新川千本桜植栽事業により、現在、新川沿いには約1,000本の桜が植えられています。この桜の管理を手伝ってもらおうボランティアを募集したところ111人の参加があり、名称を「新川千本桜の会」として、4月17日に発足式が行われました。この日は、ボランティア59人が出席。桜の管理についての講演を聞き、桜の植栽状況についての説明を受けました。活動の内容は、桜の定期的な巡回を行い、異常の有無を確認し、除草、せん定、消毒、水やりなどを出来る範囲で行うもので、実際の活動は5月から始まります。ボランティアの一人は「皆さんのために何かお手伝いがしたくて参加しました。立派な桜並木に育つといいですね」と話していました。



◀桜の管理についての講演